

第1回 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進協議会

議事要旨

1. 日 時 平成24年11月6日（火）15時00分～17時30分
2. 場 所 尼崎市中小企業センター 1階多目的ホール
3. 議 事 (1) 総合治水条例の概要
(2) 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進計画の検討
4. 出席者 23名（協議会委員1名欠席）別紙参照
5. 配付資料 資料－1 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱
阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進協議会公開要領
資料－2 総合治水条例の概要
資料－3 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進計画(素案)の骨子
資料－4 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進計画(素案)
資料－5 第1回阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進協議会
ワーキングでの主な意見
参考－1 兵庫県内の総合治水取組事例
参考－2 第1回阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進協議会
ワーキングで議事概要

【 内 容 】

- 1 あいさつ （阪神南県民局長）
- 2 講演 1 「－阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水の実現に向けて－総合的な治水対策の意義」（神戸大学名誉教授 川谷健）
- 3 議事
(1) 総合治水条例の概要 （資料－ 2 を用いて事務局説明）
(2) 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進計画の検討
（資料－ 3 ～ 5 を用いて事務局説明）
- 4 講演 2 「災害から命を守るために “そのとき あなたは？”」
（NPO法人ひょうご地域防災サポート隊 伊藤 道司）

【 主な質疑応答 】

○ 流域圏市委員

県条例に基づき、流域対策や減災対策の取り組みが列挙されている。各市においても流域対策や減災対策の取り組みが計画されていると思うが、それらの整合性についてはどの様に考えられているのか。例えば雨水貯留では、学校、公園、ため池等での目標貯留量が県で算定され何らかの配分で定められていると思う。各市がそれぞれ計画を持って進めていこうと考えている計画内容との整合性について聞きたい。

○ 事務局

この推進計画では、県・市のこれまでの取り組みや既定計画の内容から、総合治水に関する内容について記載している。例えば、6－4で書いている目標貯留量については、平成22年11月に県、市共同で策定した武庫川流域総合治水推進計画で定められている貯留量を記載している。

○ 流域圏市委員

総合治水推進計画は今までの取り組みを取り纏め、県・市が同じ方向性をもって推進していくというイメージでよいのか。

○ 事務局

そのとおりである。

○ 県民委員

洪水調整施設の継続検討について聞きたい。

千苺ダムの治水活用については、有効な治水対策であると認識をしている。これについては、今までにも流域委員会等で論議がなされてきたと思っているが、千苺ダムの治水活用について、どのような検討課題があるのか、その検討課題を踏まえて、今後どのように継続検討していくのか、教えて頂きたい。

○ 事務局

千苺ダムは神戸市の利水ダムであり、千苺ダムの治水活用について神戸市と協議を重ねてきた。千苺ダムをそのまま治水活用するとなると、放流のための新たなゲートの整備費用や地球温暖化等にも起因して豊水の年もあれば渇水の年もあるという、近

年の雨の降り方に対する水道の供給先に対するバックアップなど、そのような課題を解決する必要がある。課題解決なしに治水活用すると水道の安定供給に影響があるため、あくまで治水活用にあたっては水道の安定供給を阻害しない範囲という前提で検討を進めてきた。今、このような課題の解決策が見出せない状況であるため、計画上も継続検討するという位置づけにしている。

○ 県民委員

常松中継ポンプ場は伊丹市域も含んだ広い範囲の排水を行っている。大雨のときにこのポンプがとまれば、周辺の地域は水路があふれて浸水してしまうので、非常に重要な施設と思っている。そのため、大雨のときには水路やポンプ施設周辺を見回り、ごみが詰まる等の不具合があればそのごみを取り除いたりしている。

数年前、流れてきたマットレスがポンプの流入口をふさいでしまい、水を含んだマットレスは大変重たく人手では取り除けなかったため、緊急にレッカー車を手配して取り除いてもらった事があった。水路を管理する市や県には適切な維持管理をお願いしたいが、空き地にマットレスを捨てた人はこんなに大変な事態になっていたことも知らないと思うので、この協議会を通じて、ポンプ施設の重要性とごみの発生源対策について住民の意識啓発ができればと考えている。

○ 県民委員

千苺ダムの治水活用や新規ダム建設等について、その必要性・実現可能性の検討を継続すると書いている。この総合治水の中では、やはり流域対策、減災対策が一番かと考えていた。ダムの計画が無いというところから、今後は流域対策を充実させていくべきかと考えていたけど、どのような検討を続けていくのか。

○ 事務局

地元説明会等では、千苺ダムの治水活用や武庫川溪谷での新規ダム建設等について、その必要性・実現可能性の検討を継続すると説明している。今回説明をしたところはこれから20年間かけて、戦後最大洪水に対応する対策の説明であり、この中では、新規ダム建設の計画は入っていない。しかし、基本方針に向けた更なる治水の安全度向上を図っていく上では、検討材料の一つになる千苺ダムの治水活用や新規ダムの建設は必要性・実現可能性についても検討していくという意味である。

第1回 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進協議会出席者名簿

(敬称略・順不同)

区分	氏名	所属等	備考
学識経験者	◎川谷 健	神戸大学名誉教授	
県	平野 正幸	神戸県民局長	
	藤田 隆司	阪神南県民局長	
	常松 貞雄	阪神北県民局長	
	梅谷 順子 (代理)加納 新次	丹波県民局長 (丹波土木事務所長)	
地元市	中島 信 (代理)畑 恵介	神戸市建設局長 (建設局 下水道河川部長)	
	岩田 強 (代理)衣笠 年晴	尼崎市副市長 (都市整備局長)	
	本井 敏雄 (代理)中村 博明	西宮市副市長 (防災危機管理局長)	
	岡本 威 (代理)林 茂晴	芦屋市副市長 (都市環境部参事(都市計画担当部長))	
	川村 貴清 (代理)寺田 茂晴	伊丹市副市長 (都市基盤部長)	
	山下 稔 (代理)土橋 壽雄	宝塚市副市長 (都市安全部長)	
	吉岡 正剛 (代理)番庄 孝夫	三田市副市長 (都市整備部長)	
	平野 齊 (代理)長谷川 正	篠山市副市長 (まちづくり部長)	
	地域住民	山下 政司	神戸市北区道場町連合自治会長
松井 定雄		社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会理事(武庫支部長)	欠席
室屋 俊一		西宮市鳴尾東コミュニティ協議会会長	
堀 晃二		芦屋市自治会連合会会長	
永田 文也		伊丹市自治会連合会会長	
森田 大和		宝塚市花の道自治会長	
藤村 晴彦 (代理)藤野 稔		三田市区・自治会連合会会長 (三田市防災リーダーの会)	
中本 日出義		篠山市当野自治会長	
関係団体	柳瀬 博彰 (代理)田中 俊子	兵庫六甲農業協同組合(JA兵庫六甲)常務理事 (兵庫六甲農業協同組合営農経済事業部リーダー)	
	加藤 哲夫	篠山市森林組合代表理事組合長	
	伊藤 道司	NPO法人ひょうご地域防災サポート隊代表	

◎:会長